

【議会報告会】

○委員から、コンビナート火災等の防止に向けて、企業に対して積極的なアプローチを行ってほしいとの意見があるが、具体的な方策はどうか。また、答弁はあったか。

⇒議員 委員から意見を述べたものであり、答弁はなかった。コンビナートの災害対策においては、自衛隊も含めた国・県との関わりが重要であるが、市としても企業に対して働きかけを行う必要があるという視点の意見である。

○四日市市では全戸に家族防災手帳が配付されているが、聴覚障害者向けの防災手帳の作成についても、先進自治体の例を参考にして検討を行うべきではないか。

⇒議員 聴覚障害者向けの防災手帳について貴重なご意見をいただいたので、検討するよう担当部局に伝えたい。

○減災アドバイザーという制度があるが、位置づけがはっきりせず、浸透しなかったが対応はどうか。

⇒議員 制度をつくったものの、活躍の場がないという現状は問題があると考え。担当部局に伝えて対応を求めたい。

○四日市市議会では政務活動費の支出について、後払い方式により厳正な支出が行われていると聞くが、どうか。議会を傍聴すると、居眠りや携帯電話でメールをしている議員がいるように見受けられる。また、議場への入退場時に国旗・市旗に一礼をしない議員がいるが、どう考えるか。

⇒議員 議会事務局の厳しいチェックにより政務活動費を支出しており、議会改革の先進議会の名に恥じぬ経理処理を行っている。議員とはなんたるかを常に意識し、品格ある議員にならなければならないと考える。なお、議場内でのメールは禁止である。

○常磐地区は、養老―桑名―四日市断層帯が通っており、地盤が 6 m 隆起する箇所もあると聞くが、対策はどうか。断層帯は三滝川を横断しており、雨季に地震が発生すると多大な被害が発生するのではないか。また、常磐地区にある落合川の橋は劣化が激しく、巨大地震の発生時には崩落の危険性もある。この断層帯で地震が発生した場合、国の試

算では市内で約6千億円の損害が生じるとされている。対策について国に働きかけるとともに、物資など支援体制の構築を行うべきである。

⇒議員 東海・東南海・南海地震に対しては準備を行ってきているが、熊本地震のような直下型地震への対策が遅れていると考える。担当部局に対しても指摘していきたい。

○指定避難所の小学校は、体育館のみしか使えないが、地域内の多くの住民が避難した場合に収容しきれないのではないか。教室等も活用できるよう再検討をしてほしい。また、避難ビルの数を増やしてほしい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○天白川が氾濫しないよう雨水排水対策を強化してほしい。

⇒議員 都市・環境常任委員会に伝える。

○市民の付託に応えられるような議会活動を行ってほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○手話通訳関係者や聴覚障害者で集まって月1回、防災に関する会議を行っており、情報を収集しているところである。指定避難所には、毛布・水・非常食などの備蓄は十分になされているか。

⇒議員 指定避難所には防災倉庫が設置されており、一定量の備蓄はあるが十分ではなく、物資搬送に頼る部分が多い。また、集会所等の緊急避難所は各自治会等が備蓄しており、福祉避難所においてもある程度の備蓄がなされているものと認識している。

○屋外拡声子局（防災行政無線）の音達試験の調査で、「聞こえなかった」という回答があるが、今回の調査に限らず、恒常的に聞こえないのであれば、対応が必要ではないか。

⇒議員 各自治会に対し調査を行い集計したものであり、結果を精査したのち、新規設置や廃止等を検討していく。

○調査に回答した自治会長は、意識していたので聞こえたが、一般住民はほとんど聞こえていないという実状がある。風雨の際にはさらに音が聞こえにくくなる。各町に一つず

つ設置してほしい。

⇒議員 聞こえ過ぎてもクレームが来ることもあり、難しい面がある。防災メールなどで補完をしながら対応をしていくことになると思う。今後も継続的に改善を図る必要がある。

○常磐地区は、雨水排水路が細い。現状を把握し対策を講じてほしい。中心市街地で行っているような雨水排水対策を常磐地区でも行ってほしい。

⇒議員 都市・環境常任委員会に伝える。

○審査内容の中に、議員がしっかり働いていないという批判もある中で…との意見があるが、具体的な意味はどうか。

⇒議員 昨今の報道等にもあるように地方議員が世間を賑わせることが多く、世間一般論として、議員のあり方が問われている。本市議会としても今後さらに、議員提案条例の提出など活発な活動を通じ、市民に対して議員の仕事を示していかなければならないと考える。

【シティ・ミーティング】

○常磐地区は投票率が非常に低いため、市の選挙管理委員会に投票所の増設を要望しており、最終的な回答を待っている状況である。要望にあたっては事前に総務省に問い合わせを行っており、1投票区の選挙人の数は3000人を限度とし、距離は2キロ圏内であるとの回答が得られた。なお、常磐地区は1投票区6900人程度となっていることから大幅に超過しているという現状である。投票率の向上に向けては、当日投票所の整備が重要であると考え。他の地区でも要望を行う必要があるのではないかと考える。

⇒議員 当日投票所の整備は、非常に重要と考える。視察を行った青森県平川市では、有権者誰もが当日投票ができる共通投票所をショッピングセンターに設置し、また、山間部において、期日前投票で臨時の移動投票所を設けることで大幅に投票率が向上した。本市としても先進事例を研究しながら対策を講じていくべきと考える。

○投票所の増設は、施設の問題など制約が多く、なかなか実現しない。共通投票所の導入を決断してほしい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○聴覚障害者の投票率向上のためにも、市長選挙において、CTYで政見放送を行い、手話通訳をつけてほしい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○本市の4か所の期日前投票所は、市内東部に偏っている。増設も含め、市域にバランスよく設置すべきではないか。

⇒議員 期日前投票所が沿岸部に偏っているのは、内陸部に公の施設が少ないことが一因である。今後はハード整備も含めた検討が必要であると考えます。なお、今秋の市長選挙では、四日市大学で期日前投票所を2日間開設する予定である。

⇒議員 市議会議員選挙の前々回および前回の結果において、全体の投票率が50%から48%に下がった一方、有権者数に占める期日前投票の割合は5%から8%に上昇しており、前々回は投票者の10人に1人、前回は6人に1人が期日前投票を行った計算になる。この結果から見ても、期日前投票所の利便性向上は投票率の向上につながるものと考えます。

○以前からこの議会報告会でも、市民総ぐるみ総合防災訓練に手話通訳者を配置してほしいとの要望をしてきたが、先日河原田小学校で行われた訓練で、手話通訳者が配置されており、感謝している。一方で、駐車場が少なく、遠くに駐車しなければならなかったため、不便であった。対策を考えてほしい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○市民総ぐるみ総合防災訓練の開催案内は、広報よっかいちに掲載されていたが、加えて、手話通訳が配置されることも載せてほしい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○市議会のホームページに前回の議会報告会の概要が掲載されていないが、いつ掲載されるのか。

⇒議員 近日中に掲載しますのでもう少しお待ちください。